

での日本の二酸化炭素の削減目標数値は6%となっており、うち3.9%は森林によって吸収されるとされています。次代に美しい地球と郷土を引き継ぐため、森林の整備を基本に、家庭・行政・事業者において節電、節水に努めるとともに、農業分野におけるバイオマスエネルギーの研究にも取り組みます。

2 「安心温度」の高い暮らしを みんなで支えよう

少子高齢社会のなかで、子どもからお年寄りまでの安心した暮らしを支える「保健・医療・福祉」の充実したまちづくりは、町民が最も期待する分野であると同時に、町政の大きな課題です。社会福祉の理念は、一人ひとりが自分らしく生きる権利を保障すること、お互いが支えあう心を持って、社会全体でその実現に取り組むことが、町民の願う安心して暮らせる社会の実現につながります。

本町では、急速に進む少子高齢化に伴う福祉制度改革に適切に対応するとともに、新年度誕生する「町立北宇和病院」を中核とする地域医療の充実を図ります。また、町民・民間組織・関係機関・行政で連携し、児童・障害者・高齢者をはじめ、全ての人の権利を尊重する優しさあふれる福祉環境の向上に努めます。これらにより、す

べての町民が地域の温かさを実感しながら、健康で暮らしていく社会（「安心温度」の高い暮らし）の形成を目指します。

(1) 一人ひとりの健康支援

町民参加型で健康増進計画を策定し、これに基づき、乳幼児期からの生活習慣病予防対策を図るとともに、生涯にわたる健康づくり活動の拡充を図ります。乳幼児健康診査・育児相談・家庭訪問等を通じた母子保健の充実、健康診査・健康教育・認知症予防や生活習慣病予防のための老人保健の充実、感染症の予防・拡大防止対策を講じます。精神障害者が自立できるよう関係機関と連携した地域支援体制の構築を図ります。また、保健推進委員会や健康を守る会など地区組織の活動を支援し、地区ぐるみで健康を守る活動を展開します。



小児予防接種

(2) 地域医療の充実

町内に病院2カ所、町立診療所4カ所、個人診療所7カ所、歯科診療所3カ所があり、第1次医療機関として大きな役割を果たしています。しかし、近年は、専門科目の不足などによる町外医療機関への患者の流出、町立診療所施設の一部老朽化と医師の継続的な確保への不安などにより、地域医療体制の低下が懸念されています。

このため、町立北宇和病院を中核とする地域医療体制の再構築、各医療機関との適切な機能分担による良質な医療のサービスの提供に努めるとともに、保健・医療・福祉の連携強化に取組みます。

(3) 子育て支援の充実

「子どもはまちの宝」を合言葉に、家庭を中心に地域と関係機関が一体となって、子どもの人権尊重と子育て環境の向上を目指します。保育所では、早朝・いのこり保育や施設設備の計画的な改修による保育サービスの充実を図るほか、児童虐待防止対策、防犯対策、乳幼児医療費助成等経済支援にも取組みます。

(4) 高齢者福祉・障害者福祉の充実

本町では、急速な高齢化により、要介護高齢者が急増し、高齢者施策が重要な課題です。介護保険事業と高齢者福祉事業との両輪によるきめ細かなサービスを展開し、

「寝たきりにならない・認知症にならない」元気老人対策に努めます。障害者福祉は、ノーマライゼーションの理念の下、支援費制度による福祉サービスの提供や精神障害者小規模作業所などの運営により、自立支援と社会参加を促進します。



総合福祉センター「ひまわり」

(5) 地域福祉の推進

町民参加型の地域福祉計画の策定を進め、福祉意識の向上に努めるとともに、社会福祉協議会、民生委員・児童委員やボランティアなどの町民組織との連携強化を図り、自治会組織や精神保健ボランティアの育成・活動支援、公民館等拠点機能の充実に取り組み、お互いが支えあう福祉のまちの実現に努めます。

(6) 社会保障制度の運営

国民健康保険事業、介護保険事